

# 団員の声



稲森 啓輔 第14分団 2020年4月入団



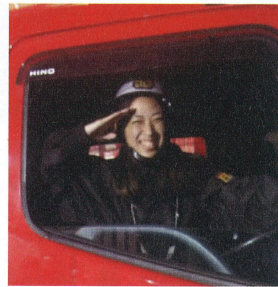
様々な知識や技術を身につけたいと思い入団しました。「応急手当普及員」の資格を取得することができ、改めて応急手当の重要性を知りました。この資格を活かし、職場で応急手当講習会を自分自身で行い、高評の声をたくさん頂けたことが嬉しかったです。

木原 真斗 第7分団 2021年6月入団



消防士を目指していて、経験を積みたいと思い入団しました。人命救助の中に安全管理が徹底されていたりと、最初は圧倒されていたりと、最初は倒れることが多くありましたが、とても重要なことを学んでいるのだといつも実感しています。

榎 風香 第16分団 2017年4月入団



料理と節約が趣味の専業主婦です。友人の誘いを受けて入団しました。【消防団のことをより多くの人たちに知ってもらいたい】【1人でも多くの方が災害に巻き込まれず助かる可能性を高めたい】という思いが強くあり、広報宣伝活動にも力を入れています。訓練について発信した私の SNS を見たことがきっかけで友人が入団した時はとても嬉しかったです。『消火活動は男性がするものというイメージがあったが、女性も活躍できることが素晴らしい。そして、その場に参加していることを誇りに思う』との家族の言葉がとても嬉しく、これからも頑張っている私の姿をたくさん見せたいと思っています。

青木 伊都子 女性消防隊 2011年4月入団



東日本大震災での津波被害を目の当たりにし、海・川に囲まれ独居高齢者も多い自分の暮らす地域で何かお役に立ちたいと強く思い入団しました。入団するまでは、災害時は公的支援に頼ることを考えていましたが、日頃から「自分で守る」「助け合う」と意識すること、自助・共助・公助の連携が必要だと考えるようになりました。『消防団に入団したいと聞いた時は驚きましたが、地域のチカラになりたいという気持ちを知って応援したいと思いました。積極的に活動に参加し知識を深めていく母を尊敬しています』との娘からの言葉が一番の励みになっています。

宮本 翔太 機能別消防隊 株式会社 2021年4月発足 団員16名

消防団に所属している社員から機能別消防隊の発足と団員募集の声がかかり入団しました。自分が団員になってからは、ニュースで見る消防士の活躍を身近に感じるようになったり、町で消防車とすれ違う時は自分が後方支援として出動するかもしれないと身構えたりするようになりました。焼津市にある会社に勤め、また焼津市民として、地元の方々の生活を守るためにしっかりとした行動をとれるよう、日々の訓練等を重ねていきたいです。

